

地域づくり計画作成のポイント

1. 地域づくり計画とは、話し合いで共有した「やりたいこと」「やるべきこと」の実現の順番と方法を決めること

◎ポイント1

- ・話し合いで住民の皆さんから出された「地域で取り組むべきこと」や「取り組みたいこと」を、一気に実現することは難しい場合も多いです。
- ・このため、事柄の必要性や実現可能性から、地域で着手する順番を決めていきましょう。
- ・「安全」や「暮らし」や「産業」等の分野に分けて順番を決めるのも有効な方法の一つです。

◎ポイント2

- ・次に、「いつまでに(実現時期)」、「だれ達が(活動の主体)」、「どんな方法で」、取り組みを進めるか決めていきましょう。
- ・実現時期は、例えば、短期(2年間で)、中期(5年間で)、長期(10年間で)に分けて、**目標設定**すると整理しやすくなります。

<目標設定の例>

- 短期(例えば2年間で)：空き家調査、防災マップつくろう
- 中期(例えば5年間で)：生活支援組織、加工品販売体制つくろう
- 長期(例えば10年間で)：2年に1組、UIターン定住を実現しよう

◎ポイント3

- ・地域計画づくりでは、実際は、事務局やリーダーさん達で骨子をつくるケースもあると思います。その場合でも、節目節目で、必ず住民の方達で内容を議論する機会をつくりましょう。
- ・**「自分達で話し合いってつくった計画」**というみんなの認識が大切です。
- ・また実現に向けての効果的な支援を得られるように、あらかじめ、適切なタイミングで、行政機関、関係団体、専門家等に参加してもらうことも有効だと思います。

